

議会答弁等の進行管理について（R8年6月末現在）

番号	区分	所管部局	所管課	質問内容	答弁内容	取り組み状況 (1 未着手、 2 着手、3 実施済、4 実施しない)	検討結果、実施結果 (検討の結果取り組む内容、実施内容、 実施しない理由等について記入)
1 未着手(0件)							
2 着手(24件)							
1	R5年12月定例会	財務部	公共施設マネジメント推進課	公共施設に附帯する駐車場について、有料化を検討してはどうか。	R7年度の公共施設使用料の見直しに際して、駐車場の有料化の適否を判断していく。	2 着手	有料公園の一部の駐車場において、有料化を実施するべく公園施設の指定管理者との協議を進めている。
2	R8年3月定例会	市民生活部	地域づくり推進課	フラワータウン市民センターの改修工事について、どのように進めていくのか。	市民や利用者の意見を聞く必要があり、使用頻度なども見極めながら、適切な改修に向けた検討を進めている。利便性・安全性の確保と費用対効果の両立を念頭に検討していく。	2 着手	市民や利用者の意見を踏まえ、使用頻度なども見極めながら、利便性・安全性の確保と費用対効果の両立を念頭に適切な改修に向けた検討を進める。
3	R8年6月定例会	市民生活部	地域づくり推進課	三田市区・自治会連合会から脱退された区・自治会への行政事務委託料の対応を伺う。	現在、行政事務委託は連合会と契約しているため、連合会非加入の区・自治会に委託料を支払っていないが、区・自治会が地域で果たしている役割を踏まえ、行政事務委託のあり方について、連合会をはじめ地域の意見を尊重し、他市事例も参考に検討する。	2 着手	行政事務委託のあり方について、連合会をはじめ地域の意見や他市事例も参考に検討を進める。
4	R7年6月定例会	市民生活部	文化スポーツ課	・歴史資料収蔵庫の耐震・耐火・防火対策は早急にすべきではないか。 ・所蔵資料は原則公開とすべきであり基準を明確する必要があるのではないか。	・公共施設マネジメント基本方針を踏まえ、資料保存に適した市内施設への移転について検討する。 ・公開・非公開の基準を明文化し歴史的資料の活用を図る。	2 着手	・歴史的資料の整理・調査を行い、資料保存に適した市内公共施設の移転の検討を行う。 ・資料の公開・非公開基準を明文化し、資料の活用を図る。
5	R5年6月定例会	市民生活部	クリーンセンター	高齢者等のごみの出し支援について、戸別収集をどう進めるのか伺う。	戸別収集については、現状の自助、共助による支え合いを尊重し、維持することを前提に、どのようなことができるのか検討を進める。	2 着手	ごみ出し困難者に対する福祉収集の実施に向けた再度の検討を具体化するにあたり、次期一般廃棄物処理基本計画への位置づけを図るため、同計画の策定準備を開始した。
	R5年6月定例会	市民生活部	クリーンセンター	ごみ出し困難な高齢者・障害者の生活支援として、安否確認を含めた戸別ごみ収集が必要。市の考えを伺う。	ご自身でごみ出し困難な独居高齢者等を対象に安否確認を含めたごみの戸別収集実施に向け具体的な検討を進める。なお、自助、共助活動を維持するため自己負担導入も検討する。		
	R8年3月定例会	市民生活部	クリーンセンター	福祉収集の事業開始に向けた現在の検討状況と市の考えを伺う。	戸別収集とヘルパーによるごみ出し支援の両面で具体的に検討を進めたが、費用面及び介護保険制度の活用面で課題があり実施に至っていない。次期一般廃棄物処理基本計画への位置づけを念頭に、早期の実施に向け調整していく。		
6	R7年6月定例会	市民生活部	クリーンセンター	資源ごみの違法回収業者対策のため、資源ごみ持ち去り禁止条例を制定してはどうか。	条例制定の方向性で取り組むこととし、注意看板を活用するなど地域と共に違法業者への取組を展開し抑止力を高めていく。	2 着手	8年度内の策定に向け、制定後の運用を想定しながら検討を進めている。
	R8年6月定例会	市民生活部	クリーンセンター	資源ごみ持ち去り禁止条例の制定に向けて、進捗状況を伺う。	条例制定の方向で取り組んでおり、制定による抑止力の効果を高めるため、警察などとの連携体制の構築や違反者に対する罰則既定の内容、程度について検討を進めている。		

番号	区分	所管部局	所管課	質問内容	答弁内容	取り組み状況 (1 未着手、2 着手、3 実施済、4 実施しない)	検討結果、実施結果 (検討の結果取り組み内容、実施内容、実施しない理由等について記入)
7	R8年6月定例会	市民生活部	クリーンセンター	リチウムイオン電池の廃棄方法・回収場所の更なる周知と回収場所の拡充が必要であると考えるが、市の見解を伺う。	令和8年から市役所本庁舎に新たに回収ボックスを設置しており、引き続き市民へのわかりやすい周知に努める。また、回収場所の拡充については、安全性の確保も含め研究を進める。	2 着手	回収場所の拡充については、回収場所の環境や収集体制など安全性の確保も含めて、研究を進めている。
8	R7年12月定例会	産業振興部	産業政策課	北摂三田第三テクノパーク構想は当面保留となったが、代わりとなる産業用地確保をどう進めるのか。	産業団地を整備するため、開発基本構想の策定に向けて庁内で検討を進める。	2 着手	産業用地の整備手法、候補地なども含め再点検をするため、庁内関係部署と検討を進めている。
	R7年12月定例会	産業振興部	産業政策課	市が収支不足を解消する施策として、企業誘致を力強く進める必要がある。企業誘致を進めて産業振興に力を入れないのか。			
	R7年12月定例会	産業振興部	産業政策課	企業誘致事業は延期となっており、今後の雇用創出推進施策をどのように取り組むのか。			
9	R8年3月定例会	産業振興部	産業政策課	大きく収益を作り出す事業が必要であることから、産業振興や企業誘致等への取り組みが必要であるがどのように考えているのか。	産業団地を整備するため、開発基本構想の策定に向けて庁内で検討を進める。	2 着手	産業用地の整備手法、候補地なども含め再点検をするため、庁内関係部署と検討を進めている。
10	R8年6月定例会	産業振興部	農業振興課	三田市の産業振興において、産業発展の核となる道の駅整備の推進について	適地における敷地確保や多大な財政負担などの課題から、道の駅の設置は現状困難と考えているが、有馬富士公園が候補地になり得るかについて、最新の国の制度設計に照らし庁内で研究をしていく。	2 着手	有馬富士公園及び隣接地を対象とした適地の選定や設置事業費の算定等について、先行する他市事例や既存の市内施設の状況も参考に庁内関係部署と研究を進めている。
11	R7年9月定例会	こども未来部	こども育成課	長期休業中の放課後児童クラブでの昼食提供の検討状況について	先進市の状況の把握と民間事業者との協議を行った。令和8年度の試行実施に向けて予算確保を進める。	2 着手	令和8年度の試行実施に向けて予算要求を進めるとともに、実施方法等を検討する。
12	R7年12月定例会	こども未来部	保育振興課	育児休業期間における保育施設在園継続条件の緩和について	現在の社会情勢は認識しており、制度の見直しは必要と考えている。待機児童の状況を見定め、市内施設運営事業者の意見を伺いながら検討を進める。	2 着手	待機児童の状況を見定め、市内施設運営事業者の意見聴衆のうえ、見直しを進める。
13	R6年12月定例会	都市整備部	都市デザイン課	フラワータウンでの円滑な人口循環を誘発させるため、フラワータウンから巣立った多くの若者たちを住み慣れたまちに戻って来やすくするための住環境を整備してはどうか。	フラワータウン再生アクションプランでは、人口循環を促すための住環境の整備を掲げており、手法等について検討している。	2 着手	賃貸住宅の供給可能性について令和8年度に委託による調査を実施予定。
14	R4年9月予算決算常任委員会	都市整備部	交通政策課	高齢者運賃助成制度について、基準日を4月1日のみとするのではなく、基準日は半年に1回程度とし対象者への周知連絡機会を増やすことを検討してはどうか。	高齢者運賃助成制度については持続性や利便性向上も含め、外部委員会を設置し高齢者の外出支援のあり方を検討する中で協議していく。	2 着手	R5年度に制度の見直しに関する素案を作成。素案を基に制度を高める中で、運用や費用面で想定以上に影響が大きくなることが判明したことや、R8年度から県全域で路線バスの交通系IC統合による乗降の利便性向上を図るため、R6年度に

番号	区分	所管部局	所管課	質問内容	答弁内容	取り組み状況 (1 未着手、 2 着手、3 実施済、4 実施しない)	検討結果、実施結果 (検討の結果取り組み内容、実施内容、 実施しない理由等について記入)
	R4年9月予算 決算常任委員 会	都市整備部	交通政策課	高齢者運賃助成制度についてICOCAの導入は検討しないのか。	高齢者運賃助成制度については持続性や利便性向上も含め、外部委員会を設置し高齢者の外出支援のあり方を検討する中で協議していく。		一化など変化する交通環境を踏まえ、R8年度に様々な視点から検討し方針を示す。
	R6年6月定例会	都市整備部	交通政策課	見直し予定の高齢者運賃助成制度では、任意取得のマイナンバーカード利用や、対象地域を限定されており、一部の市民が利用できない点は問題では。	制度見直しは柔軟な対応を視野に入れ、必要とされる方にとって利用しやすい持続性のある外出促進となるよう検討する。		
	R8年6月定例会	都市整備部	交通政策課	公共交通の不足や制度が使いづらいなど、利用率の低さも課題にあり、制度の拡充や利用方法の見直しをどう進めているのか。	交通系ICカードの活用による利便性の向上や、事業採算性の検証を行い、助成額を含め持続可能な制度となるよう検討を進める。		
15	R3年6月定例会	都市整備部	建設課	都市計画道路三輪下田中線の今後の計画及び横山天神線の延伸計画について	都市計画道路両路線の取組については、現在事業中の道路事業の進捗状況や完成時期等を見ながら、着手時期を見極める。	2 着手	現在実施中の道路事業や駅前周辺の大規模事業の進捗や完成時期を見ながら、着手時期の判断を行う。
16	R4年12月定例会	都市整備部	管理課	花のまち三田の推進について 年間を通じて、市内全域で目につく場所に花を植えることで、市民に花への愛着を持ってもらえると考えるが、市の考えを伺う。	高齢者から子供まであらゆる世代が一緒になって、身近な環境を花で美しく彩られる取り組みを進め「花と緑があふれるまち三田」のまちづくりを目指す。 どのような取り組みができるのか、近く、庁内での横断的なプロジェクトチームを立ち上げ、検討を進める。	2 着手	総合計画後期基本計画策定の中で検討中である。
17	R6年12月定例会	都市整備部	管理課	公園管理報奨金について、物価高騰や担い手不足により活動継続が難しくなっている。報奨金単価の見直しなど、制度の拡充ができないか。	活動団体のモチベーション維持及び活動意欲を高めるため、報奨金単価の見直しを進める。公園周辺の敷地外清掃への助成や公園面積区分については、見直しを検討する。	2 着手	報奨金単価の公園面積区分の見直し検討については活動団体に対しアンケート調査を実施済み。調査結果を分析、考察中。 ※R7年12月定例会同様の質問
	R7年12月定例会	都市整備部	管理課				
18	R5年12月定例会	学校教育部	学校再編課	上野台・八景中学校の統合新設校の構想について、現在の考え聞く。	今後、具体的な教育目標や教育内容をまとめるとともに、子どもたちの多様な教育ニーズにも柔軟に対応できる施設のあり方について、構想としてまとめていく。	2 着手	新中学校の整備に向け、より良い学校づくりをめざすうえで、当該校区の児童生徒、保護者、地域住民及び市立学校の全教職員を対象にアンケートを令和6年度に実施した。アンケート結果等を踏まえ、令和8年2月に基本構想・基本計画（案）を策定し、市民意見の募集を行った。市民意見に対し、市の考え方を示し、基本構想・基本計画の策定を予定している。

番号	区分	所管部局	所管課	質問内容	答弁内容	取り組み状況 (1 未着手、 2 着手、3 実施済、4 実施しない)	検討結果、実施結果 (検討の結果取り組み内容、実施内容、 実施しない理由等について記入)
19	R7年12月予算 決算常任委員 会	学校教育部	学校再編課	新統合中学校（上野台・八景中学校）建設事業について 今後の進め方(情報発信)	基本構想・基本計画について、R7年度内の公表を予定。市民意見の募集を市広報紙やホームページでの周知、地元川除区、対象校区の保護者への周知に努める。	2 着手	令和8年2月に基本構想・基本計画（案）を策定し、市広報誌やホームページで周知をし、市民意見の募集を行った。市民意見に対し、市の考え方を示し、基本構想・基本計画の策定を予定している。
20	R8年6月定例会	学校教育部	学校教育課	スクールソーシャルワーカーについて、現状では週1日8中学校への非常勤配置（延べ8名）となっているが、1人週4日の常勤配置として、4校ずつ担うよう変更すると、活動が充実するのではないか。	勤務体制の充実や配置方法の工夫なども含め、より効果的な配置のあり方について検討していきたい。児童生徒一人一人に寄り添った支援体制の充実に努める。	2 着手	令和9年度から10年度にかけて、スクールソーシャルワーカー配置時間の拡充を目指すとともに、各中学校区への聞き取り調査等を通じて、より効果的な配置方法を研究する。
21	R8年3月定例会	学校教育部	学校給食課	不登校やアレルギー等の理由により給食を利用していない児童生徒の実態把握及びその保護者への経済的な支援策について問う。	給食を利用しない児童生徒については、保護者と密に連携、面談し確認している。経済的支援策については、公平性や持続可能性等を踏まえ適切な在り方を研究する。	2 着手	経済的支援策について、財源や事務負担等総合的に整理するとともに、他市先行事例も参考に制度設計を進める。
22	R8年3月定例会	学校教育部	学校給食課	資源循環型の給食運営や食品ロス削減の取組について、今後どのように進めていくのか、市の見解を問う。	食品ロスの削減については、学校教育の現場で残食を減らす指導を継続して行うとともに、特に未使用の牛乳に関し、循環させる有効な方策がないか検討を進める。	2 着手	引き続き、学校現場での環境教育に取り組みつつ、未使用牛乳にあつては、その利活用に関し有効的な仕組みを構築する。
23	R8年6月定例会	学校教育部	学校給食課	学校給食センターの今後の運営と持続可能な給食環境の整備について伺う。	R15年度に新センタの建設により環境の整備を図る。現施設は予防保全の観点で維持し、引き続き給食の衛生管理を徹底する。人員も将来を見据え基本計画で様々な比較検討を行う。	2 着手	現2施設は施設大規模修繕事業で各年度で予防保全を図る。衛生管理は引き続き徹底していく。新センターの基本計画と民間活力導入可能性調査をR08～09年度の2か年で取り組んでいく。
24	R8年6月定例会	学校教育部	学校給食課	給食センターについて民間事業者を入れること の市の見解、また直営を堅持すべきと考えるが 市の見解を伺う。	今後の給食センターの方向性を検討するにあたり、直営ならびに民間事業者による事業推進も比較検討の対象としている。基本計画と民間活力導入可能性調査で比較検討を重ねていく。	2 着手	R08～09年度の2か年で基本計画と民間活力導入可能性調査を進め、整備内容と運営手法について整理していく。

番号	区分	所管部局	所管課	質問内容	答弁内容	取り組み状況 (1 未着手、 2 着手、3 実施済、4 実施しない)	検討結果、実施結果 (検討の結果取り組む内容、実施内容、 実施しない理由等について記入)
3 実施済(8件)							
25	R6年6月定例会	危機管理部	危機管理課	狭い総合福祉保健センターで福祉避難所と災害ボランティアセンターの二つの役割を同時に担うことは困難、代替策を講じるべきである。	災害ボランティアセンターの候補地については、できる限り早い時期に調整を進める。	3 実施済	社会福祉協議会等と候補地について検討し、災害規模等、状況に応じて、「総合福祉保健センター」と「郷の音ホール」を使い分けすることで方向性の整理を行った。
26	R7年12月定例会	医療政策部	医療政策課	現三田市民病院跡地活用について、募集がなかった事態を受けて、課題をいつまでに整理し、再度公募を行う時期をどのように想定しているか。	不調の要因分析と課題整理を行い、再公募の方針決定を行う。再公募にあたっては、事業概要等の事業者に向けた説明会を開催し、令和8年4月下旬を目途に再公募したいと考えている。	3 実施済	令和8年1月再公募にあたって、事業概要等の事業者に向けた説明会を開催した。課題整理、方針決定を行ったうえで、令和8年4月20日から、令和8年9月24日まで再公募を行っている。
27	R8年6月定例会	こども未来部	こども育成課	長期休業中の放課後児童クラブでの昼食提供の検討状況について	先進市の状況の把握と民間事業者との協議を行った。令和8年度の試行実施に向けて予算確保を進める。	3 実施済	あかしあ台小学校内の2つのクラブで試行(令和8年7月21日～8月7日)を実施した。
28	R6年12月定例会	健康福祉部	介護保険課	市域が広いことやヘルパー不足の問題もあって、地域によっては訪問介護やデイサービスの利用調整が難しい地域が存在している。このような地域間格差の是正についてどのように考えているか。	事業所が市南部とニュータウンに集中しており、地域間格差は認識している。サービスの安定的な提供に努めながら、農村部・山間部での利用者の状況把握に努め、対応を考えていく。	3 実施済	該当事業者へのアンケート調査を実施し、状況把握に努めた。今後は令和8年度に策定作業を進める第10期介護保険事業計画において、高齢者・介護審議会の意見を聞きながら地域間格差の是正に向け検討を進める。
	R7年6月定例会	健康福祉部	介護保険課	地域間格差の是正については「状況把握に努め対応を考えていく」との答弁があったが、取組内容とスケジュールを伺いたい。	第10期介護保険事業計画策定にあたり予定している「事業者アンケート」において、該当事業者に対し、農村部・山間部での利用者の状況把握を行う。		
29	R5年9月定例会	都市整備部	管理課	道路管理について、パトロールや美化活動を組み合わせた(仮称)「キッピーロードサポーター制度」の導入を検討してはどうか。	現在実施している「道路の管理保全活動に関する協定」を締結している団体に意見を伺いながら、官民連携の仕組みづくりについて検討する。	3 実施済	「道路の管理保全活動に関する協定」に基づき美化活動を継続していく。道路管理については、道路パトロールの体制を強化し、修繕業務を拡充する。これにより道路施設の安全安心な維持管理に努める
30	R7年9月定例会	都市整備部	管理課	ドッグラン課題整理のために試験的にドッグランを設置できないか。	試験的設置を含め他市の事例なども参考にしながら、課題への対応を検討する。	3 実施済	深田公園で短期イベントとしてドッグランを開催した。 実施結果を今後の検討課題として活用する。
31	R8年6月定例会	都市整備部	管理課	スポーツ施設の老朽化対策として施設整備計画的な改修及び施設更新等の方針について、市の見解を伺う。	施設利用後のチェックシートを活用し、利用者の声を直接伺うことで更なるサービス向上を図っていく。	3 実施済	施設利用後のチェックシートの様式を変更した。
32	R6年3月定例会	学校教育部	学校給食課	教育委員会は市学校給食運営協議会から学校給食のあり方について答申を受け、学校給食への三田肉の活用について、どのような方針をもって今後取り組むのか。	今後、三田肉をはじめ地産地消の充実を図っていく。	3 実施済	三田米や三田産野菜等の活用を優先し、年間を通じた地場野菜や特産品の提供を進め、地産地消の利用を高めていく。
4 実施しない(0件)							